

夏の日の目覚め

まだ起きたくはない
朝早く目覚めた夏

二度寝で見た夢
心にのこる
どこか寂しい
どこか懐かしい

硝子の向こうに映る
夏がゆっくりとはじまって
川は陽を抱いている
鉄橋今くぐり抜けてゆく

川の上を赤い列車が

まだ起きたくはない
朝早く目覚めた夏

小さな扉
心に響く
どこか寂しい
どこか懐かしい

赤い列車が渡りゆく
列車の音 遠くの山が
風が少しだけ笑う
その音を優しく返して

誰もいない朝の時間に

まだ起きたくはない
朝早く目覚めた夏
夏の日の始まりに
やわらかに抵抗する